



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.144 2011年8月10日 支部長 緒方智子

昨日は8月9日。長崎では、66年前のこの日、かんかん照りの午前11時02分、上空で原子爆弾が投下され、人々の日常が一変しました。復興後も爆弾により放出された放射能は人々の身体の中に巣くひ、次々と被災者を蝕んでいきます。私たちはかつてこの地で起こった出来事が地球上のどの地でも決して起こってはならないことを肝に銘じ、この日を迎えました。特に今年は3.11の東日本大震災とそれに伴った福島原発事故を重ね合わせながら、世界の恒久平和と人々の安全な日常が早急に回復されることを願わずにはいられませんでした。

No more Hiroshima! No more Nagasaki! No more Hibakusha!!

会報144号をお届けします。

今会報は

- 1 サーバス九州夏例会報告（大分・国東 / 7月23・24日）
- 2 サーバス旅行報告（T 会員 / サーバスミーティング in Swiss）
- 3 会員情報（新入会員紹介）
- 4 サーバス日本からの連絡（被災者支援プロジェクト）

を掲載しています。受信されましたらご一報いただけたら安心いたします。

1. 九州地区夏例会報告

サーバス九州 夏例会 報告

F.H 会員

7月23日と24日、サーバス九州は、大阪・兵庫・山口からの参加者も含め総勢33名が国東（くにさき）に集合し、現地の小田会員をはじめ大分の会員のあたたかいもてなしを受けました。飛び入りガイドのお二方は市職員のKさんと僧侶の摩尼（まに）さんです。このお二人のガイドで、神仏習合の聖地を二日間堪能しました。お二方とも国東の生き字引です。よく勉強させていただきました。

今回は国東半島の東側半分を回ったこととなります。1日目はその南側を、2日目は北側を見たこととなります。

集合場所は国東市安岐総合支所前。最初の訪問地は瑠璃光寺でした。

このお寺は住職さんのお説教で有名だそうです。よそ者には「外国語」に聞こえる方言混じりの早口のお説教を聞き、お寺の離れで大分の会員さんが準備してくださったおにぎり昼食を頂きました。庭に挽き臼が沢山置かれてありましたので、住職さんに理由を尋ねましたところ、「石は腐らないので庭に置いている」とユーモアの返事が返ってきました。離れのおかみさんに尋ね直したら、「檀家さんが移住して去られるとき、寄進していただいたものです。47台あるはずですよ」とのことでした。現在、檀家さんは7軒になってしまったとのことでした。ここも過疎化から逃れられず、お寺を維持して行くのも大変だとのことでした。住職さんの熱のこもった話ぶりが理解できる気がしました。

次は、三浦梅園旧宅

18世紀半ば、この地に、知識欲の塊のような賢人が現れたのです。地球と宇宙の構造が解明されていなかった時代、死に物狂いでそれを解明しようとした人の気持ちが伝わって来る資料館でした。

次は泉福寺

この寺の祭壇の基部に、ニホンミツバチが営巣していました。住職に、貴重なハチですので駆除しないように言いましたら、国宝なのでそんなわけにはいかない、すでに業者に駆除依頼を出しているということでした。国東はまだ自然が豊かなのです。過疎化したために自然が守られていると言ったほうがいいのでしょうか。

次は、この日のメイン・両子（ふたご）寺

国東半島の真ん中にあり、一番高い山の頂上近くにあります。神仏習合のお寺や神社がたくさんあるこの地の中で、最高位のお寺です。駐車場から歩く階段も長かったです。昔から山岳修行の行者たちがこの地を目指したのです。鎌倉時代の作、大聖不動明王の像が御本尊で、護摩堂に置かれています。

この国東半島では、両子山から放射状に伸びた28の谷のうち主6つの谷の6つの村を中心に独自の仏教文化が発展したと言われ、それが六郷満山文化と呼ばれています。

この両子寺の登り口で、集合写真を撮りました(写真)。



「国東市サイクリングターミナル、道の駅くにさき」が宿でした。

1泊2食5500円のエコなお宿です。そのお宿の食堂で第一次交流会。飲み物は宿舎の前にあるスーパーからの持ち込み。お宿の方に「すみません！」と頭を下げたら「いいですよ！」の返事。かなりのエコ。入浴後の二次会も堂々の持ち込みと各地域からのおみやげでいっぱい！なんとその交流会には宿のオーナーも参加。サーバスにどうぞ！とみなさんで勧誘しました。

2日目は、摩尼尊嚴住職のお寺で座禅を組むことから始まりました。

摩尼尊嚴とはれっきとした人名です。いかにもお坊さんらしい名前ではありませんか。ところが人柄は坊主臭さのないリベラリストという感じです。お寺に着いてみましたら、今日はだいたい色の袈裟に着替えて、座禅の叩き棒を持って立っておられました。私たちはみんな15分ばかり座禅を組み、それぞれ1回ずつ背中を叩いていただきました。

その日の昼食は国東半島の北端にある涛音寮（とううんりょう）。昔、造り酒屋だった表具の工房兼レストランです。そこで昼食をして解散予定です。

そこへ向かう途中、まず富来（とみく）神社に寄りました。

この神社はトミクルとも読めるために、宝くじの神様にされ、宝くじ当選祈願に参拝者が訪れるということでした。

ここから次の訪問地である文殊仙寺までの道路は「開運ロードとみくじ」と名付けられています。ガイド役兼私たちの運転手であるKさんは、この神社のお祭りのときは、名前にちなんで招待されるということでした。

次は文殊仙（もんじゅせん）寺。

両子山に次いで国東では2番目に高い文殊山の頂上付近にありました。また石段を2百餘り登りました。3人寄れば文殊の知恵の文殊のお寺です。その知恵にあやかりたいと一生懸命登りました。

国東半島は全体が火山の噴火でできた山であり、凝灰岩でできています。そのため水触に弱く、山の頂上近くは、どこも切り立っています。その絶壁に、たまたま窪んだところがあると、雨を避けることができるために、そこを修行場にし、庵にし、お寺に変化したと思われます。文殊仙寺も絶壁から飛び出したような造りです。絶壁の多さは、独特の寺院建造を生み、摩崖仏を生み、山岳信仰を育てたのではないのでしょうか。

低地に降りてきて平野部を走りながら、Kさんが、「国東は石碑や石仏、地藏さんが多い、何事も石碑に書いて残したがるようだ」と言われましたが、確かに、道路開通記念、新田開墾記念などと読める石碑が目につきます。田畑や道路を開くと、すぐに大きい石にぶち当たります。国東はどこも石の文化が行き渡っている感じです。

良きガイドに恵まれ、歴史と自然を堪能させてもらった充実した2日間でした。大分の皆さん、ありがとうございました。

＊＊ 以下はサーバス日本のHPの掲示板の投稿です。＊＊

またお会いしましょう 投稿者：大分アミー 投稿日：2011/08/03(Wed) 11:25

大分のKです。

先日の例会ご出席の皆様お疲れさまでした。

大分での例会を皆様に喜んでいただける場所と思い、国東のOさんのお力添えを頂つつ計画いたしました。

何しろ交通アクセスが大変な場所であり、果たして何人様がおいでいただけるかと心配していましたが、蓋を開けてみたらなんと！！30数名の方のご出席があり、うれしい悲鳴でした。

少しでも大分を、そして国東を知っていただきたく、少々時間的にきつかったところもありましたが、よき思い出ができました^^^というメールを頂計画してよかったと思っています。特にOさんはじめ、市役所のかたがたのご配慮で、最後の難コース、峰入りの行の難所を渡り終えたときの充実感思い出してもガッツポーズものでした。

秋の例会は宮崎と決定いたしました。年3回ですが、会員の皆様にお会いできることをうれしく思います。

宮崎の皆様、お世話をかけますが4649お願いいたします。

九州支部例会お疲れ様でした 投稿者：kenken@熊本 投稿日：2011/07/26(Tue) 08:52

恒例の九州支部夏の例会参加者の皆様 おはようございます。
ご機嫌如何でしょうか。

先ずは、お世話いただいた大分支部〇様はじめ地元会員の皆様そして支部長にお礼申し上げます。楽しい二日間有難うございました。

今回は九州域外の韓国、山口、兵庫、大阪からも参加頂き30名を超える参加の元に、大分県国東半島の夏の”信仰の里”を満喫させていただきました。
お世話が大変だったことだろうと想いながら愉しませていただきました。

私どもは宿を替えて一日延長戦に挑みました。
当日は散会后、杵築のお城と武家屋敷を散策し、翌日（昨日）は姫島に渡り、豊後高田の富貴寺、熊野摩崖仏、宇佐神宮などに参拝し、夜7時過ぎに何とか帰宅しました。熊野摩崖仏はホントにしんどかったし、若干強行軍でしたが疲れも余り感じなく充実した一日を愉しませていただきました。

例会参加を毎回楽しみにしていますが、秋は宮崎ですね。
楽しみにしたいと思います。
皆さんまたお会いしましょう！

皆さんご自愛ください。

次回は11月19日・20日。宮崎で開催予定です。今まで参加されていない方、初参加はちょっと敷居が高いかも知れませんが、大丈夫です。どうぞ参加をご検討されください。「クセになる楽しさ」が味わえる可能性大です。

2. 「サーバス旅行」報告

ヨーロッパ4カ国サーバスミーティング参加の旅

TR 会員（福岡県）

6月2日から7月7日までUKとスイスを巡る5週間の旅に出た。今回は3つの旅をそれぞれ楽しむことになった。最初の旅は女性二人でオックスフォードからナローボートを楽しみバース、コッツウォルズからシュルズベリーそしてアバリストウイス、カーマゼンとウェルズをぐるりとひと回りしてロンドンに入った。（12泊）入れ替わりに友人3人と合流しミュージカル・「マンマミーア」を観て深夜、寝台列車でエジンバラに向かう。湖水地方、バース、コッツウォルズを廻ってロンドンで連泊した。（10泊）彼らと別れてスイス、チューリッヒに向かい2週間のひとり旅を楽しんだ。

今回最大の目的は毎年開かれるドイツ、イタリア、フランス、スイス4カ国による3泊4日のサーバスマミーティングに参加することだった。昨年スイスを旅した時サーバスマイトからは是非来るようにと誘われてストックを持参しての参加となった。航空運賃を節約する為UKからそのままいらっしやいとアドバイスされていたのだ。チューリッヒのメンバーのお宅ではレエウから来た彼等の長年のサーバスマイトと同宿し3日目にフルムスベルグという山に向かう。4カ国のみならずアメリカ、カナダ、トルコなどからの参加もあり総勢80名が集まった。実際は懇親会で2日目、3日目とトレッキングを楽しむものだ。再会を喜び夜は唄やクイズを楽しみお酒を飲みながら歓談する。驚いたのは皆さんが「福島」と声に出しながら「日本の何処に住んでいるの？」と揃って心配してくれたことだ。日本からただひとりの参加で皆さんが名前を覚えてくれ本当に親切にいただいた。沢山の方から折りがあれば我が家にいらっしやいと声も掛けていただいた。昨年おじゃましたカウリのメンバーにも偶然再会、旅行中で受け入れが出来ないと返事をくれたストラズブルのメンバーとは「貴女だったの？」と声を掛け合った。天候にも恵まれ野草が咲き乱れカハルがあちこちから聞こえるスイスの山を歩くトレッキングは楽ではないがいい汗をかき実に楽しい。来年はフランスの番でモンブランに登るよとまた誘われた。その後は3～4泊のハードな中級・上級のトレッキングをやったと聞いている。サーバスの素晴らしさを更に実感した日々だった。

その後、ケルでサーバスマイト宅に4泊し彼女の故郷やいくつかの村や人気の渓谷などヘドドライブに連れ出してくれた。ひとりで遠出をしたりもした。再会を約束し列車でスイスの東の果て世界遺産のあ

るミスタイ、温泉で有名なシュクホルへ。後半は5度も乗り換え6時間近く掛けてブリエンツのホテルへ移動。有名なルートホル登山鉄道に乗ったりブリエンツ湖を遊覧船で渡ったりした。バレンベルグ野外博物館（各地の古い家が移築され家族連れで1日遊べる広大なもの）にははるばるルツェルンからメンバーが来て案内してくれた。

数日後インターakenに移動し連泊する。シュニクプラッテ登山鉄道に乗ったりケーブルカーで展望所に登ったりマイリンゲンではシャーロックホームズが敵と戦い命を落としたと云われる滝、ホームズの博物館などを訪ねた。山ではモマツやシュタインボックを見ることも出来た。インターakenでは中国、韓国からの学生が大挙して長期滞在しており街中はインド、アラブ、中国の家族連れを多数見かけ国の勢いを益々感じた。こうして旅は無事に終わり帰国後も疲労感は全く無く元気な自分に驚いています。ただ随分日に焼けました。

3. 会員情報

佐賀からお二人の方がサーバスの会員になってくださいましたのでご紹介します。

H. S.	Retired	佐賀市在住女性
Y. A.	Retired	佐賀市在住女性

早速、誘ってくださった佐賀のSさんと3人でイギリスへのサーバス旅行を計画されています。楽しんでください！

九州支部会員数 56名(2011年7月末現在)

内訳:福岡10、佐賀4、長崎6、大分15、熊本6、宮崎14、鹿児島1、沖縄0

4. 日本サーバスから

日本サーバス被災者支援プロジェクトについて

(上記に関してサーバス会長から各支部長宛に以下のメールがきましたので、以下にコピーします。)

2011年8月8日 日本サーバス役員の皆さま

前略 震災から早や5カ月、被災地の復興は、少なくともフクシマの不手際・遅延に比べれば着々と進んでいるように見え、メディアでは「がんばろう」節の合唱ばかり聞こえます。亡くなった方には夏祭りやお盆で花を手向けるしかないのはわかりますが、生きている方々について本当に行政お任せでいいのか、被災しなかった我々は今後の増税を忍ぶだけで本当に責任を果たしたことになるのだろうか、ここ数日の猛暑の中で思い悩んでしまいます。

そんな中で、東北支部会員のTさんのボランティア活動は続いています。5月の国内会議では、被災者支援活動が地域の平和を回復し人間どうしの絆を確認・強化する活動として、サーバスのピースセクレタリーの職責にふさわしいことを認識し、Tさんに日本サーバスのピースセクレタリーに就任してサーバスの名のもとに被災者支援活動を続けてくださるようお願いしました。そのためには物質的、経済的な支援が必要ですが、現在の日本サーバスにはその余裕はなく、目標額を決めて募金活動をするエネルギーもありませんので、個々の会員の全くボランティアな寄付に期待して「日本サーバス被災者支援プロジェクト」と称する口座を設けました。Tさんとしては当然のことながら一定の予算を立てて財政的な裏付けのある活動を希望しておられますが、現状では日本サーバスからはこの口座に集まった金額を限度とする活動をお願いせざるを得ません。

お金のことですから、運用とか報告とか細かいことを言えばきりがありませんが、少なくともこの「プロジェクト」は日本サーバスピースセクレタリーが実施するものであり、寄付いただいた金額はそのまま会計のIさんからTさんに送られて100%真水として「プロジェクト」に使われるものですので、被災者支援にお志のある向きにはよろしくお願ひしたいと思います。なお、現在の対象はTさんの東北被災者支援ですが、寄付者や会員の希望あるいはピースセクレタリーなど役員判断によって、他の地域や国の被災者支援に「プロジェクト」が向かうこともありえます。そうすれば先年のハイチ地震の際に集まったお金を寄付者に返還したような残念なことはなくなるでしょう。あるいはT東北支部長による別ルートの活動も含まれるでしょう。これまでに東北支部に寄せられた寄付金は東北支部判断で処理していただき、向後は「プロジェクト」に集中していただければありがたいところです。

会計係りのIさんからお送りした送金用紙は、面倒な記載事項を郵便局が1枚1円で印刷してくれたものです。機会を見て会員にご紹介ご活用をお願いします。

草々

(九州支部長記:上記の宛名の記された送金用紙を送付するのに4000円余かかりますので、メールで会報を受信されている皆さんには用紙は別の郵送機会に送付させていただきます。お手数ですが郵便局で青い振込用紙を入手し、以下のサンプルのように書き込んで送金していただければ幸いです。尚、九州支部としては4月に支部会議決定として会計から東北支部には義援金を送金していますが、それとは別の個人としての支援になると思います。いずれにせよ息の長い支援が必要だと思います。よろしくお願ひいたします。)

新設口座と郵便局の振込用紙の記載は以下の通りです。

名称：ニホンサーバスピースプロジェクト
 銀行：ゆうちょ銀行世田谷店
 口座記号番号：00140-9-263481番

他行からの送金受取口座は
 〇一九（ゼロイチキョウ）店（019）当座0263481

送金していただける方は郵便局にある「払い込み取り扱ひ票」（青色）に下記のように記入して郵便局の窓口にお出してください。取り扱ひ手数料が必要です。よろしくお願ひいたします。

口座記号				口座番号 (右詰で記入)				千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	4	0	=	9	=	2	6	3	4	8	1	金額		
加入者名	日本サーバス被災者支援プロジェクト							料金			備考					←各自記入
通信欄															←各自記入 (住所)	

・		氏名 をお 忘れ なく)
---	--	-----------------------

6. その他

「サーバス掲示板」への書き込みを！

インターネットで「サーバス日本」の HP にいくと掲示板のボタンがあります。閲覧は誰でも自由にできますが、書き込みは会員のみとなります。前回共通の「ID」とパスワードをお知らせしましたが、お忘れの方は緒方までメールでお問い合わせください。個別にご連絡いたします。